

韓国教職員招へいプログラム

(2022年1月:オンライン開催)

実施要項

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO)は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア・太平洋の人々と協働し、文化と教育の分野において地域協力・交流活動を推進しています。ACCUの教職員国際交流事業における日本のパートナー国は、2001年から韓国、2002年から中国、2015年からタイ、2016年からはインドが加わり、現在4ヶ国と連携、東アジアから東南アジア、南アジアに交流国を広げています。開始当初より現在までに、海外教職員は4ヶ国合わせて4,100人以上、日本教職員は1,100人以上が海を渡り、教育現場が舞台の国際交流を通して、これらの国々の相互理解と友好の増進に大きく貢献してまいりました。

昨年度は、日韓教職員交流20周年企画としてwebsiteとポスターを制作するとともに、遠隔地や離島の教職員同士のアウトリーチプログラム、3つの高校へのオンライン訪問、小中教職員のオンライン交流会を開催しました。今年度の韓国教職員招へいプログラムは、COVID-19感染拡大予防の観点から、引き続きオンライン上での交流で実施することになり、2022年1月17日(月)から1月28日(金)までの期間、複数回にわたって韓国の初等中等教育教職員50名と本邦との間で実施します。なお、昨年度のオンライン実施結果を踏まえ、議論中心でかつ小グループでの小中高の学校訪問とすることになりました。

2. 目的

- (1) 教職員同士の交流を通じて、互いの国の教育制度、教育事情および文化について相互理解を深め、教職員自身が変容していく端緒を開く。その変容を通じて多様性への理解と尊重が育まれ多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。
- (2) プログラムの活動を通してより深い交流を行うために参加者が事前に設定したテーマに基づいた交流を行い、日韓の教育に関する共通の課題を発掘する。プログラム後も両国間の継続した交流のためのネットワークを構築することを目指す。

3. 活動内容

ウェブ会議システムを活用し、以下の活動を行う。

- (1) 動画視聴による授業視察
- (2) 日本の教育制度、ESDや関連事項についての講義受講
- (3) 日本の教職員との意見交換
- (4) 日本の児童生徒との意見交換

4. 概要・日程

本プログラムは、事前視聴、開会式/オリエン、学校訪問、報告会/閉会式から構成される。

プログラム	実施予定日	アクティビティ	詳細
事前視聴	-	授業動画	個別視聴
開会式オリエン	1月17日(月)午後	オンライン講義および地域・学校紹介	訪問校別に実施
学校訪問	1時限	交流	日本の教職員あるいは児童生徒との自由討議
	2時限	児童生徒と議論	日本の児童生徒が設定したテーマで議論
	3時限	教職員と議論	日本の教職員が設定したテーマで議論
報告会閉会式	1月28日(金)午後	報告内容の共有と議論	授業動画に関する議論・学校訪問報告

開会式・オリエンでは、韓国教職員向けに文部科学省からの日本の教育制度についての講義を実施す

る。なお、各学校への訪問については、全員がオンラインで議論に参画できるように、2グループに分けて実施する。訪問する学校は、小学校・中学校・高等学校とする。

5. 参加者数

韓国教職員と韓国ユネスコ国内委員会(KNCU)スタッフ並びに韓国教育部職員含め50名が参加する。

6. 参加資格

- (1) 国際理解教育、ESD(持続可能な開発のための教育)、SDGs(持続可能な開発目標)等に高い関心を持つ者。
- (2) プログラム参加中に得た成果をプログラム後に自身の所属先、延いては韓国の教育に還元する姿勢を持つ者。
- (3) プログラム参加中ならびに参加後も積極的に主に教育分野における日本との交流および国際相互理解を深める活動に取り組む姿勢を持つ者。
- (4) 大韓民国の国籍を有すること。
- (5) 所属する学校等からの推薦を受けた、韓国の初等中等教育に携わる教職員および教育行政職員であること。(教育行政官及び教育専門家を含む)
- (6) プログラムの全日程に参加が可能であること。
- (7) 過去の日韓教職員交流プログラムに参加した経験のある教職員の参加も可とする。

7. 評価と報告

プログラム終了後

- (1) 各参加者は ACCU の用意するオンライン評価票に速やかに記入し送信する。
- (2) 各受入機関はオンラインアンケートに速やかに記入し送信する。

8. 注意事項

(1) 諸経費

韓国側で発生する、オンライン交流への参加にあたって必要な機材の調達、通信その他にかかる諸経費については、各自が負担することとする。

(2) 「Asia-Pacific Educators' Platform: TREE」への会員登録

プログラム期間中および事前の円滑な情報共有(授業動画視聴含む)および継続的な交流のため、参加者は、会員制 SNS「Asia-Pacific Educators' Platform: TREE」への会員登録を行うこと。

9. 通訳

ACCU はプログラム期間中、通訳者(日-韓)を手配する。

10. リモート配信・撮影

安定した通信環境を確保するために、学校訪問に際してはリモート配信業者を導入する。また、訪問時概要の記録のために、あわせて撮影業者(リモート配信業者と同一の可能性あり)を配置する。いずれも、ACCU 側が費用負担する。

11. 申請・推薦手続

韓国ユネスコ国内委員会(KNCU)は、参加者を選定し、2021年12月17日(金)までに ACCU へ推薦(参加者リストを提出)することとする。

12. 個人情報の取り扱い・その他

- (1) プログラム期間中に撮影された写真・動画等は、ACCU、協力機関の作成する資料やホームページなどの紙・電子媒体で、随時使用、掲示・掲載される。
- (2) 参加者から提出される申請書類にある情報は、プログラム準備・運営のため、必要に応じて、協力機関に共有される。

13. このプログラムに関する照会先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター 国際教育交流部 担当:杉戸・高松
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL:03-5577-2853 FAX:03-5577-2854 E-MAIL: accu-exchange_ml@accu.or.jp